

我が国の領域で発生した大型飛行機に係る事故及び外国の領域・公海上で発生した我が国の大型飛行機に係る事故(注1)(2014年～2023年)

発生年月日	概要	事故の種類	型式	離陸後3分 (注2)	着陸前8分 (注2)
2014/2/12	ORC(JA801B)の着陸時の機体損傷(胴体前方外板等)	着陸時の機体損傷	ボンバルディア式DHC-8-201型		○
2014/4/29	JAL(252便(JAR))の機体の動揺による客室乗務員の負傷(骨折等)	機体動揺	エンブラエル式ERJ175-100STD型		
2014/8/12	JAL95便の機体の動揺による客室乗務員の負傷(頸椎挫傷等による2週間の入院加療)	機体動揺	ボーイング式787-300型		
2014/12/18	AAL280便の機体の動揺による人の負傷(骨折等)	機体動揺	ボーイング式777-300型		
2015/3/12	飛行機整備の飛行中の異常による機体損傷(胴体前方外板等)	被害	ガルフストリーム・エアロスペース式G-IV型		
2015/4/14	ANA82便のアンダーフューードによる航空保安関係施設との衝突	航空保安関係等	エアバス式A320-200型		○
2015/5/30	ANA84便の着陸時の機体損傷(胴体前方外板等)	着陸時の機体損傷	ボンバルディア式DHC-8-815型		○
2016/2/23	JAL3512便が誘導路で非常脱出を行った際の乗客の負傷(骨折等)	非常脱出時の負傷	ボーイング式787-800型		
2016/5/27	KAL2708便が離陸直後、エンジンに火災が発生	火災	ボーイング式777-300型	○	
2016/11/10	JAL448便が上昇中、機体が動揺し客室乗務員が負傷(骨折)	機体動揺	ボーイング式787-300型		
2017/1/22	NCA182便が上昇中、鼻が衝突し引き返した。(機体前部外板に凹み)	機体損傷	ボーイング式747-8F型		
2017/7/1	UAL875便が降下中、機体が動揺し客室乗務員が負傷(骨折)	機体動揺	ボーイング式787-9型		
2017/10/22	SJO701便が降下中、機体が動揺し客室乗務員が負傷(骨折)	機体動揺	ボーイング式737-800型		
2018/3/27	NCA109便が到着後の点検において機体(機体前部外板)の損傷が確認された	機体損傷	ボーイング式747-8F型		
2018/4/19	KAL733便が離陸の際、バウンドしたことから復行した際、機体(機体後部下面外板等)を損傷	着陸時の機体損傷	ボーイング式747-300型		○
2018/8/8	ANA834便(AJX)が地上走行中にブレーキをかけた際、客室乗務員が負傷(骨折等)	減速時の負傷	ボーイング式787-300型		
2018/8/24	JAL514便が巡航中に機体が動揺し客室乗務員が負傷(骨折)	機体動揺	ボーイング式777-300型		
2018/8/27	VNL373便が巡航中に機体が動揺し客室乗務員が負傷(骨折)	機体動揺	エアバス式A320-214型		
2018/8/2	THB201便の機体の動揺による客室乗務員の負傷(骨折)	機体動揺	ボーイング式787-800型		
2018/8/15	ANA848便の機体の動揺による人の負傷(骨折等)	機体動揺	ボーイング式787-8型		
2018/10/12	JAC3783便の機体の動揺による客室乗務員の負傷(骨折等)	機体動揺	ATR式42-500型		
2018/11/13	ANA947便(AQO)の機体の動揺による乗客の負傷(骨折)	機体動揺	ボーイング式787-900型		
2019/12/25	TTW287便の機体の動揺による人の負傷(骨折等)	機体動揺	エアバス式A320-XLR型		
2020/1/12	JNA282便が上昇中に機体の動揺による客室乗務員の負傷(骨折)	機体動揺	ボーイング式737-800型		
2020/4/12	ANA430便(AHQ)が飛行中に機体の動揺による客室乗務員の負傷(骨折)	機体の動揺	ボーイング式737-800型		
2020/8/29	SKY21便が、上昇中、鼻が衝突し機体を損傷(機体前部外板)	鼻衝突	ボーイング式737-800型		
2020/10/23	ORC93便は、離陸時に過大な速度を上げ姿勢となり、機体後部下面が滑走路に接触(機体後部下面の外板等)	着陸時の機体損傷	ボンバルディア式DHC-8-402型		○
2021/2/1	NCA258便は、機体の速度が不十分なままピッチ角が過大となったため、機体後部下面が滑走路に接触(機体後部下面の外板)	着陸時の機体損傷	ボーイング式747-400型		○
2022/1/18	SFJ87便が飛行中に機体の動揺による乗客の負傷(骨折)	機体動揺	エアバス式A320-214型		
2022/2/15	JAL2228便(JAC)が飛行中に機体が動揺し乗客が負傷(骨折)	機体動揺	ATR式42-500型		
2022/3/28	JAL889便が飛行中に機体の動揺による客室乗務員の負傷(骨折)	機体動揺	ボーイング式787-300型		
2022/6/25	ANA1828便(AHQ)が飛行中に機体の動揺による客室乗務員の負傷(骨折)	機体動揺	ボンバルディア式DHC-8-402型		
2022/7/18	SNA11便が飛行中に機体の動揺による客室乗務員の負傷(骨折)	機体動揺	ボーイング式737-800型		
2022/10/8	JTA98便が飛行中に機体の動揺による客室乗務員の負傷(骨折)	機体動揺	ボーイング式787-800型		
2022/11/17	JAL3760便(JAC)が滑走路に待機中による乗客の負傷(骨折)	着陸時の負傷	ATR式72-212A型		○
2023/1/7	JAL887便が進入中に機体の動揺による乗客の負傷(骨折)	機体動揺	ボーイング式737-800型		
2023/1/7	JJP501便が脱出スライドを使用して乗客を降機させた際に乗客が負傷(骨折等)	スライド使用時の負傷	エアバス式A320-XLR型		
2023/1/25	ANA8512便がスポット上の連絡通路で機体が滑り、周辺に駐車していた地上作業車両に衝突し、機体を損傷(機体下面外板等)	車両接触の機体損傷	ボーイング式787-300型		
2023/5/8	UPS104便が進入復行する際に、滑走路に強く接地し機体を損傷(機体後部胴体外板等)	着陸時の機体損傷	ボーイング式747-400F型		○

(注1) 航空法第78条の規定により報告がなされた事故

(注2) 離陸後の3分間と着陸前の8分間に発生した事故に加え、離陸滑走開始後及び着陸直後に発生した事故についても累計。